



青き地球を憧れて

令和6年 7月19日発行
電話 2962-7118
FAX 2962-8297

発行責任者 入間市立東金子中学校長 飯塚 一博 生徒数【1年68名 2年92名 3年88名 青空7名 合計255名】

保護者・地域の皆様

登校日数71日間の1学期も今日で終業となります。保護者の皆様には東金子中学校の教育活動に対するご理解とご協力ありがとうございました。いよいよ明日から37日間の夏休みに入ります。夏休みは1学期の登校日数のほぼ半分となります。生徒たちにとっては自分で計画を立て自主的に生活する時間が増えます。また、この夏休みの過ごし方によって2学期の出だしが変わってきます。有意義な夏休みとなるように、ご家庭でのご指導よろしくお願い申し上げます。今年も猛暑が予想されます。保護者の皆様も健康に留意してお過ごしください。



終業式の話より 7月19日

皆さんは、「守・破・離」という言葉を知っていますか。もとは千利休の教えをまとめた『利休道歌』にある、「規矩作法 守り尽くして破るとも離るとても本を忘るな」を引用したものとされています。「守」は、指導者から教わった型を徹底的に守り、型を身につける段階。「破」は、身につけた型と他流派の型なども含めそれらと自分とを照らし合わせて研究し、自分に合ったより良いと思われる型を模索し試すことで既存の型を発展させる段階。「離」は、さらに鍛錬・修業を重ね、かつて教わった師匠の型と自分自身で見出した型の双方に精通し、その上で独自の新しいものを生み出し確立させる段階です。このようにして新たな境地に辿り着きますが、「本を忘るな」とあるとおり、教えを破り離れたとしても根源の精神を見失ってはならないということが重要であるということです。これは、日本の文化である柔道・剣道・相撲道・華道等「道」の精神を学ぶときにも遣われる言葉です。

これを中学校生活に例えるとどうなるのでしょうか。3年間で考えると、1年生は「守」の段階で中学生としての型を身につけ、2年生はそれを基に発展させ、3年生は進路選択に向けて志を持ち、義務教育を離れ巣立っていく、ということになると思います。また、1年で考えると1学期は「守」の段階で学校や学年・クラスで組織をつくり、動き出し、型を作っていく。2学期は「破」の段階で、合唱コンクールや行事等を通して、学校や学年・クラスを発展させる。3学期は「離」の段階で、3年生を送る会や卒業証書授与式を通して、学校や学年・クラスを離れて次年度の準備をする段階となります。

さて、1学期が終わりました。学校や学年・クラスの組織が作られ、そこで、自分の力を発揮し、「型」を作ることができましたか。1学期は旅行的行事を通して仲間のことを知り、人間関係を育み、新たに所属する学年やクラス集団に対する所属感や連帯感を育成して集団の「型」を作っていく学期です。1年生は青少年活動センターでの飯盒炊爨、2年生は修学旅行を見据えて東京での班行動、3年生は京都・奈良の修学旅行を日程どおり実施することができました。1年生は中学生としての型が、2年生は中堅学年として、3年生は最上級生としての型ができてきているのではないのでしょうか。

2学期は、それを発展させるときです。仲間とともに考えながら計画を立て、実践し、振り返りを行ったこの経験を次の合唱コンクールや体育祭で生かしてもらいたいと思います。そのために、夏季休業中は、様々な体験に挑戦し、自分自身の力を蓄えてください。そして、それを2学期に発揮してください。皆さんの充実した夏休みに期待し、8月26日にはやる気に満ちた顔を見ることを楽しみにしています。

小中一貫教育

東金子地区の子どもたちを義務教育9年間を見通して育てていくことをねらいとして小中一貫教育に取り組んでいます。その取組の一つとして、小学校の先生が中学校へ乗り入れ授業に来校されました。小学校の先生が中学校1年生の様子を見て、「少しの間でずいぶん大人っぽくなったなあ」と話していました。

また、14日（金）の登校時間には、生徒会本部と中央委員会の生徒が各小学校へ出向き、児童会と合同あいさつ運動を実施しました。「気持ちのよいあいさつ」はお互いよい一日の出だしとなります。先日行われた学校運営協議会でも東金子地区として大切にしていきたいこととして話題になりました。さらに、東金子地区青少年健全育成推進会では、今年は夜のパトロールではな

く、朝の登校時のあいさつ運動を行う方向です。

そして、18日（火）には小中連絡会を行いました。中学校の授業参観をしていただき小学校を卒業した子どもたちの成長した姿を見ていただきました。その後、小中の先生方が一堂に会して今年1年間、小中で一緒に取り組む内容を確認しました。

交通安全教室 6月14日

DVDの視聴と代表者の体験を通して、自転車乗車時のルールを守ることの大切さとヘルメット着用の重要性について学びました。令和5年4月1日より、自転車に乗るすべての方のヘルメット着用が努力義務となりました。自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方は、約6割が頭部に致命傷を負っています。また、自転車乗用中の交通事故においてヘルメットを着用していなかった方の致死率は、着用していた方に比べて平成30年から令和4年までの5年間の合計で約2.



1倍高くなっているそうです。ヘルメットを着用しての自転車乗車を普及させるため、入間市では、ヘルメット購入費の補助金交付事業を行っています。自分や家族の安全を守るため、自転車に乗るときにはヘルメットを着用することが大切です。～参考：入間市HP～

フードバンクボランティア 6月16日

今回のフードバンクボランティアはとても参加者が多くなりました。本校を含め市内5中学校と狭山ヶ丘高校・ボランティアに興味がある大人の皆さん等、総勢約100名のボランティアが参加しました。お陰でとても早く作業が終了しました。フードバンク入間の方々は「多くの方に興味を持っていただきありがたい。」と話していました。最近企業等のフードロス削減の取組が進んできたことや不景気もあり、提供される食料品等が減少しているそうです。逆に食料品を必要としている家庭は増加傾向にあるそうです。これから地域で生活して行くであろう生徒たちがこのような活動に関心を持ち、主体的に取り組んでいくことは、生徒や地域の将来にとって力強いと思います。

3年生高等学校出前授業 6月26日

出前授業では、東野高校・狭山ヶ丘高校・飯能高校の3校の先生方に、国語・数学・理科・英語・美術の授業を実施していただきました。また、その後の高校説明会には全日制普通科の高校だけではなく、通信制高校の日々輝学園高校にも参加していただきました。各校の特色について、その高校の先生方に詳しく説明していただきました。3年生の生徒にとって進路選択に向けてよい刺激になったと思います。この経験を活かして夏休み中の高校説明会やオープンスクール等に積極的に参加してください。



2年生社会体験チャレンジ 7月3日～5日

「入間市の事業所へ出向き、体験や取材を通して社会性、自立心を養いふるさと入間を愛する心を育てる」ことを目的として社会体験チャレンジが実施されました。昨年度までは新型コロナの影響で校内での体験や1日での実施でしたが、今年度より3日間の実施に戻りました。多くの生徒が様々な事業所で勤労体験をすることで、社会の一員としての自覚と自らのキャリアについて考えるきっかけとすることができました。また、保護者や地域の方々に尊敬と感謝の気持ちを持つことができたと思います。ご協力いただいた事業所の皆様には心より感謝申し上げます。

令和6年度 入間市内硬筆展

【推薦賞】2年生1名 【特選賞】2年生1名・2年生2名
【優良賞】1年生2名・2年生3名・3年生1名・青空6名
【佳作】1年生4名・2年生4名・3年生6名

※8月11日（日）～8月16日（金）はサマーフレッシュウィークとなり、市内の学校は閉庁となります。留守番電話になります。ご注意ください。